

## 政治①「日本国憲法の基本原理」

人権の歴史 **C**
 7分

1. 次の資料を読んで、あとの問いに答えなさい。

## 資料Ⅰ

第1条 人は生まれながら、自由で平等な権利をもつ。社会的な区別は、ただ公共の利益に関係のある場合にしか設けられてはならない。

## 資料Ⅱ

第151条 経済生活の秩序は、すべての人に、人たるに値する生存を保障することをめざす、正義の諸原則に適合するものでなければならない。

## 資料Ⅲ

第22条 日本( )ハ法律ノ範囲内ニ於テ居住及移転ノ自由ヲ有ス

第29条 日本( )ハ法律ノ範囲内ニ於テ言論著作印行集会及結社ノ自由ヲ有ス

## 資料Ⅳ

前文(一部) そもそも国政は、国民の厳粛な信託によるものであつて、その権威は国民に由来し、その権力は国民の代表者がこれを行使し、その福利は国民がこれを享受する。

(1) 資料Ⅰは何とよばれるものか。次から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 権利(の)章典      イ 人権宣言  
ウ 独立宣言          エ マグナ・カルタ

 [1]

(2) 資料Ⅱはある憲法の一部である。この憲法では、世界で初めて社会権(生存権)が規定された。この憲法が制定された国名を答えなさい。

 [2]

(3) 資料Ⅲ中の( )には、天皇・皇族を除いた国民を表す共通の語句があてはまる。この語句を答えなさい。

 [3]

(4) 資料Ⅳはある憲法の一部である。この憲法の名称を答えなさい。

 [4]

(5) 資料Ⅰ～Ⅳを年代の古い順に並べかえ、記号で答えなさい。

 [5]